

身体拘束の実施割合について

令和7年4月～令和8年4月 | 療養病棟・地域包括ケア病棟

当院では、患者様の**尊厳と安全を最優先**に考え、身体拘束の廃止に向けた取り組みを継続しています。やむを得ず実施する場合も「切迫性・非代替性・一時性」の3要件を満たす場合に限り、最小限の範囲で行います。実施状況は毎月集計し、院内外に公表します。

療養病棟

直近月の割合

0%

令和8年4月

直近3ヶ月平均

0%

2～4月

前年同月比

↓9pt

9%→0%

地域包括ケア病棟

直近月の割合

0%

令和8年4月

直近3ヶ月平均

0.3%

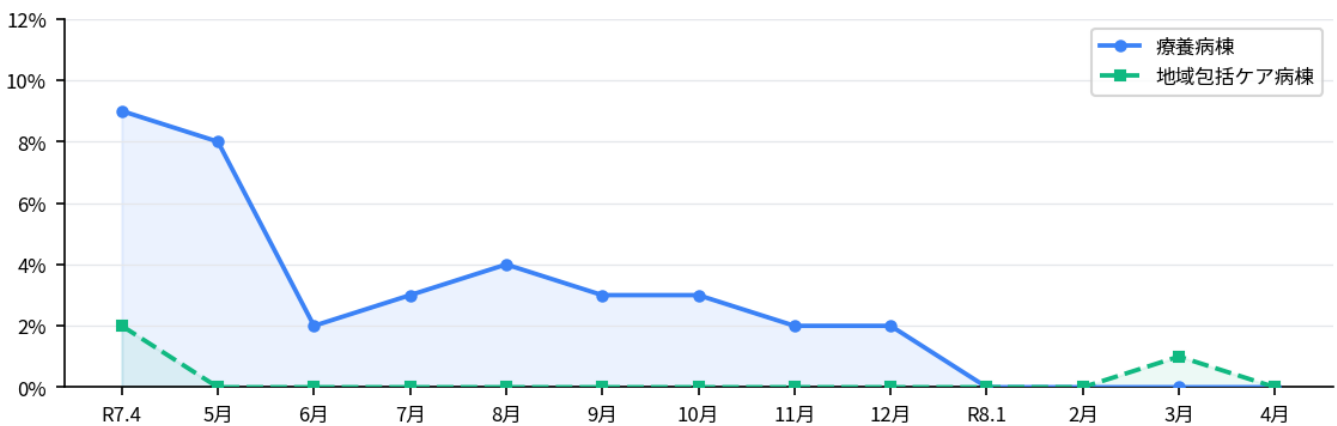
2～4月

前年同月比

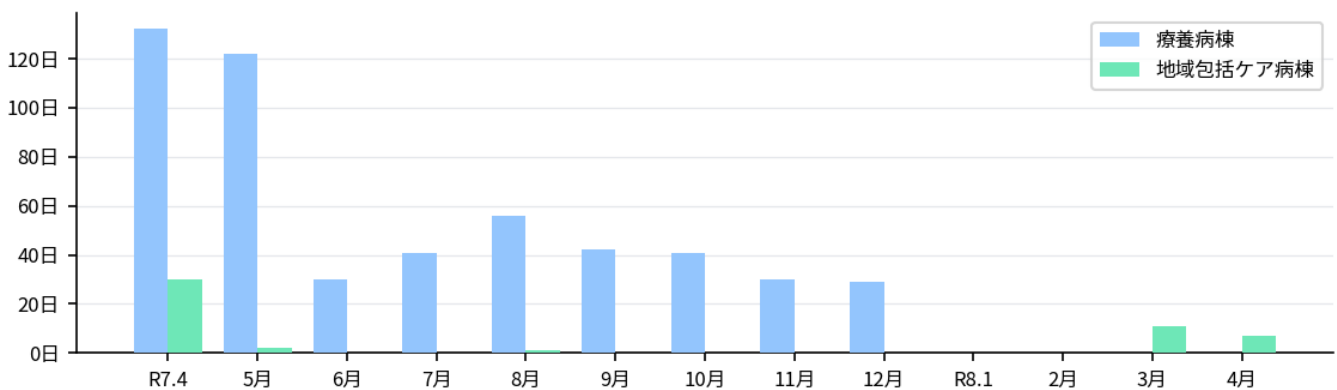
↓2pt

2%→0%

月別・身体拘束実施割合の推移



拘束日数の月別比較（実日数）



※ 身体拘束実施割合 = 拘束日数 ÷ 入院料算定日数（直近3ヶ月の平均値を表示）

※ 算定基準：令和7年度診療報酬改定に基づき、身体拘束実施割合が0.5%未満を目標としています。